

令和5年度さぬき市地域包括支援センター運営協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和6年2月14日（水） 14：00～15：10
- 2 場 所 さぬき市寒川庁舎 1階多目的ホール
- 3 出席者 [委 員] 柳瀬治夫・為國真理・増田純子・名出美紀・近江照博・西田正己  
佐藤安恵・平野通・國方光廣・防越一美・壺井邦子・白井邦佳  
[事務局] 真部哲男・伊藤英樹・藤田宏江・大垣理恵・神野さつき・白井博子  
太田かおり・和田英幹  
[傍 聴] なし
- 4 議 題 （1）令和5年度運営報告について  
（2）令和6年度運営計画について  
（3）協議事項について
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>それでは時間になりましたので只今より、令和5年度第2回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を開会します。</p> <p>この、さぬき市地域包括支援センター運営協議会は、介護保険法施行規則第140条の6第2号により、地域包括支援センターの適切で円滑な運営や公正・中立性の確保などを図るため、年2回開催しているものでございます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、柳瀬会長より御挨拶をお願いいたします。</p>
(会長)	(会長挨拶)
(事務局)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入ります前に、本日の会議は、さぬき市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条の規定によりまして、過半数以上の委員の方のご出席がでございますので、成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>当該設置要綱第4条の規定により、会長が会議の議長とされておりますので、以降の進行については、柳瀬会長をお願いいたします。</p> <p>では、柳瀬会長よろしく申し上げます。</p>
(議長)	<p>それでは、次第に基づき議事を進行します。</p> <p>議題の1「令和5年度地域包括支援センターの運営報告について」資料の1ページから37ページまで、事務局から説明してもらったあと、質問や意見をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、事務局からの説明を求めます。</p> <p>(事務局説明)</p>
(議長)	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見・ご質問がありましたらお願いします。</p>
(委員)	12ページの介護予防ボランティアリーダー育成事業の①介護予防サポ

<p>(事務局)</p>	<p>ーター養成講座の実施についてですが、参加人数1名で修了者はなかったということですが、どのような事情があったのか教えていただきたいです。</p> <p>後ほど、介護予防ボランティアリーダー育成事業につきましてはご検討いただく予定にしておりますが、少しだけご説明したいと思います。</p> <p>年々受講希望者は減少しており、ここ5年では1桁、今年度は希望者が1名しかいなかったということになっています。参加してもらい、興味を持ってもらうことが難しくなっています。サポーターはとても重要な活動をしておりますので、活動の存続や新しい方の獲得に向けてどのような方針でやっていくのかを、この後皆さんとご協議したいと思っています。</p> <p>参加者として1名上がっている方は若い方で、今年度は午前と午後に1講座ずつつけさせてもらったのですが、お仕事の都合で午前中しか来られなかったため、要件にある4分の3の受講を満たすことができませんでした。しかし、すごく意欲のある方で憩いの場や定例会に参加してくれているので、こういう方と一緒に活動していけたらという思いを持ちつつも、今の要件では満たされていないので、修了者なしという残念な結果になっております。</p>
<p>(議長)</p>	<p>先ほどの説明ですと、9月から11月で月1回3日間の講座があり、そのうちの4分の3以上の受講が必要ということでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>3日間で午前と午後に1講座ずつありますので、全部で6講座設けてさせていただきまして、その4分の3以上という基準にしています。補講が出来る方はできるだけ参加できるように職員の方も時間の配慮をさせてもらったのですが、やはり単位数が足りないという結論になりまして、今年度は修了者なしとなっています。ただ、教室自体は6講座全てさせていただいて、現在の介護予防ボランティアリーダーやサポーターに参加いただいで、研修の場としての活動はさせていただいております。</p>
<p>(議長)</p>	<p>他に、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>2点教えていただきたいことがあります。</p> <p>1点目は30ページの(3)大川地区医師会館内にある在宅医療・介護連携を支援する相談窓口について、曜日や時間、いつまで開いているのかを教えてください。</p> <p>2点目は33ページの認知症カフェ事業の12月24日に行われた研修</p>

	<p>会について、「介護予防サポーターと一緒に Let's Sing」とありますが、具体的に何を歌われたのか教えてください。</p>
(事務局)	<p>大川地区医師会館内にある在宅医療・介護連携を支援する相談窓口についてですが、平日の9時から15時まで、水曜日は不在のことが多いかと思えます。看護職の方が1名います。</p>
	<p>認知症カフェ運営事業についてご説明します。この研修会は3本立てにさせていただきます。①小学生の劇団フューチャーが認知症の劇をしてくれました。②講演会を行い、③インタビュー形式でサポーターの紹介もさせていただきます。その後クリスマスソングを一曲と「ふるさと」を手話で歌いました。</p>
(議長)	<p>その他、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
(委員)	<p>19ページの高齢者虐待の相談件数ですが、昨年度と比べますと3倍以上に増えています。令和3年度の資料を見ても、3倍くらいに増えています。世の中が変わって増えてきているのか、そのあたりのことをお聞かせください。</p>
(事務局)	<p>昨年度と比べると、確かに相談件数はかなり増えています。実際の人数で言いますと、今年度は11名の相談がありました。昨年度は6名だったので、人数で考えましても倍近くの相談がケースとして上がっていました。ケースの兆候としましては、同居家族、特に息子や娘からの虐待が増えているように思います。内容としては、身体的、経済的虐待が多いのですが、虐待者である子が閉じこもりで働いていないという傾向もみられています。</p>
(委員)	<p>実態として増えているというとらえ方でよろしいでしょうか。施設の方も来年度から、高齢者虐待防止の対応が未実施だった場合、減算となりますので、高齢者虐待に向けられる目が厳しくなっているのではないかと感じています。</p>
(議長)	<p>他にご意見はありませんか。 ご意見がないようですので、議題の2「令和6年度さぬき市地域包括支援センターの運営計画（案）について」資料の38ページから最後まで、</p>

	<p>事務局から説明をしてもらったあと、質問や意見をいただきたいと思いません。</p> <p>それでは、事務局からの説明を求めます。</p> <p>(事務局説明)</p>
(議 長)	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑応答なし)</p>
(議 長)	<p>次に、12ページの「介護予防サポーター養成講座」について、事務局からの協議事項としてご説明をお願いします。</p> <p>(事務局発言)</p>
(議 長)	<p>委員のみなさま、先ほどの報告につきまして、意見ををお願いします。</p> <p>他の市町の状況も分かれば教えていただきたいと思えます。</p>
(委 員)	<p>他の市町の状況は分かりませんが、時間や月を変えてみるのはいいい取り組みではないかと思えます。何人増やすことが目標ですか。</p>
(事務局)	<p>できれば、20人定員で毎月みなさんとお顔を合わせながら、その中で1人でも一緒に活動してくれる人が増えれば、今のサポーターは「新しい人が増えた」と大きな励みになるので、年間1人は新しい人が増えてくれたらと思えます。</p>
(委 員)	<p>私も、サポーターの研修を受けています。なかなか参加はできていないです。よく似た年齢の人がほとんどで、若い人には声をかけにくいのが現状です。</p>

(委 員)	例えば、今活動している人にアンケートを取ってみてはどうでしょうか。
(事務局)	アンケート調査をしたこともあるのですが、養成講座の間は参加ができません、一旦お休みしてしまうとよいしょがいるとか、この数年間コロナ渦で外出機会が減ってしまったのが要因で、サポーター自身も外に出ることができず、お声かけも少なくなり、サポーターの気持ちも縮んでいる状況でもあります。ただ、12月に認知症の劇を劇団フューチャーがしてくれたことを報告したところですが、小学生の保護者が見てくれていて、サポーターの活動に興味を湧きましたというご意見もいただいています。サポーターというと気が重い感じがあるので、みなさんと一緒に楽しみましようというような「愛称」も考えながら、みなさんの元気のために活動できたらと考えています。またアンケートも検討させていただきます。
(委 員)	サポーター向けのイベントを開催したりして、参加の促進をしてはどうでしょうか。
(事務局)	来年度、サポーターと子どもの交流会をしたいと考えています。子どももいい顔になって、サポーターも子どもから元気をもらえるいい関係が作れるので、子どもとの交流は来年度計画しているところです。
(委 員)	施設の外出レクにサポーターが参加してくれて助かっています。JAのゆずりはの会というボランティア団体に外出レクをお願いしていましたが、解散になってしまい、サポーターにまた助けていただきたいと思っています。
(事務局)	ありがとうございます。また、お声かけください。
(議 長)	その他、いかがでしょうか。 ご意見がないようですので、以上で、本日の議事を終了いたします。 ご協議ありがとうございました。 以降の進行は、事務局にお返しします。
(事務局)	ご協議、ありがとうございました。 今回、皆さまからいただきましたご意見・ご提言は、今後の地域包括支援センターの事業運営に活かしていきたいと思っております。

次に講演会の案内をさせていただきます。2月25日（日）源内音楽ホールで、在宅医療・介護連携推進事業として、高松の大橋内科胃腸科の大橋理事長をお招きし、「町医者によもやま話」という演題で、寝たきりを減らし、健康寿命をのばすためにどういうことをしたらいいのかという内容で講演をいただきます。ぜひ、身近な人にも案内いただき、ご参加いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、令和5年度第2回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を閉会します。次回は8月頃の開催予定としておりますので、ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。